



～ひかり～



6月生活目標：安全に気をつけよう

平成30年6月15日 文責：校長 宮崎

修学旅行 6年生は貴重な学習と体験をして大きく成長

6月10日(日)～12日(火)の2泊3日の旅程を無事に終えて、修学旅行団が帰校しました。少し心配される天気でしたが、1日目の野球観戦、2日目の平和学習、マツダミュージアム、3日目のレオマワールドなど、予定していた学習や体験を全て実施することができました。

心配されていた体調も大きく崩れることなく、39名全員が参加できたことで、楽しい思い出をつくることができ、6年生の絆、団結力も大きくなりました。添乗員の川村さんやバスガイドの下西さん、運転手の山崎さんからは、『きちんとあいさつができ、お辞儀に心がこもっていた。気持ちのよい子ども達で、素晴らしかったです。』とほめていただきました。あいさつ、礼儀、マナーなど、社会性の面でも成長が見られました。本当にうれしいことです。6年生の保護者の方々には、修学旅行の準備から体調管理などもご協力いただき、ありがとうございました。



広島平和記念公園にて。戦争の恐ろしさ、悲惨さと平和の尊さを、目で見て、話を聴いて、肌で、心で感じた6年生でした。平和を守るために祈り、私たちにできることを一人一人が真剣に考えました。

最終日、レオマワールドにて。
少し小雨がりましたが、様々なアトラクションを堪能しました。



働き方改革の取組について

平成29年12月に文部科学省から『学校における働き方改革に関する緊急対策』が出されるなど、全国的な「働き方改革」の流れの中で、国・県・市が一体となった教職員の働き方改革の取組が加速しています。高知県や四万十市でも学校教職員の超勤、多忙化解消の取組が進められており、隣の市立中村中学校では、昨年度から高知県の「多忙化解消の研究指定」を受け様々な取組を行っています。

本校では、緊急な生徒指導等の対応がない限り、教職員は毎月2回、18時には退校するように。遅くても19時迄に学校を出ることとしています。また、平素の教職員の最終退校時刻（消灯施錠）を20時、遅くても21時としています。勤務状況を把握するため、四万十市の全小中学校にICカードが導入され、毎日出勤・退勤時に、カードをかざして入力しています。

この取組の一環として、四万十市内の全小中学校で、夏季休業中に学校閉庁日（9日～15日）を設定することとなっています。後日、四万十市教育委員会から別途文書を配布しますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。



学校支援地域本部「中村小学校応援団」のボランティア活動



手縫いの練習の指導のお手伝いに来てくれました



5年生の
家庭科の授業



「祖父江さん」「山崎さん」「志治さん」「竹山さん」子ども達一人一人に対応していただきありがとうございました。